

円記号とは、日本の通貨記号「¥」です。JISの日本語通用名称では「円記号」とされています。英語では yen sign といいます。俗な語法として、日本のプログラマの間では「円マーク」と呼ばれることもあります。中華人民共和国の通貨の記号にも対応します。

JIS X 0201 における円記号

JIS X 0201 のラテン文字集合の符号位置 5/12 (16進で 0x5C) に円記号があります。文字名は YEN SIGN と規定されています。

JIS X 0208 および JIS X 0213 における円記号

JIS X 0208 の区点位置 1 区 79 点に円記号があります。

したがって、JIS X 0213 では 1 面 1 区 79 点にあります。

いずれでも文字名は YEN SIGN と規定されています。

Shift_JIS における重複符号化

Shift_JIS は成り立ちとして JIS X 0201 の 8 ビット符号の隙間に JIS X 0208 を詰め込んだものなので、JIS X 0201 と JIS X 0208 の両方の文字が含まれます。ここに、双方の符号化文字集合に円記号が存在するため、同じ記号に対して符号化表現が 2 種類存在する重複符号化が発生しています。片方が 1 バイト、もう片方が 2 バイトの符号化表現になります。

俗に、1 バイトの方を「半角」、2 バイトの方を「全角」として便宜上あたかも別の文字のように呼ぶことが行われていますが、これは昔の貧弱な描画能力しか持たない低機能なコンピュータにおける文字表示実装を前提としたもので、誤解を招く慣習です。

JIS X 0208 および JIS X 0213 の規定では、この重複符号化のため、2 バイトの方について代替名称 FULLWIDTH YEN SIGN を用いることが可能となっています。

ISO/IEC 8859-1 における円記号

符号位置 10/5 (16進で 0xA5) に円記号があります。

Unicode ならびに ISO/IEC 10646 における円記号

ISO/IEC 8859-1 をそっくりコピーしていることから、符号位置 U+00A5 に円記号 YEN SIGN があります。

また、Shift_JIS のような重複符号化の救済用として、U+FFE5 に FULLWIDTH YEN SIGN があります。上記 JIS の代替名称は Unicode/UCS ではこの符号位置に対応します。

関連項目

- JIS X 0201